

「男女共同参画週間」(6/23~29)の期間を中心に県女性センターで「男女共同参画」をテーマとした各種行事を開催します。

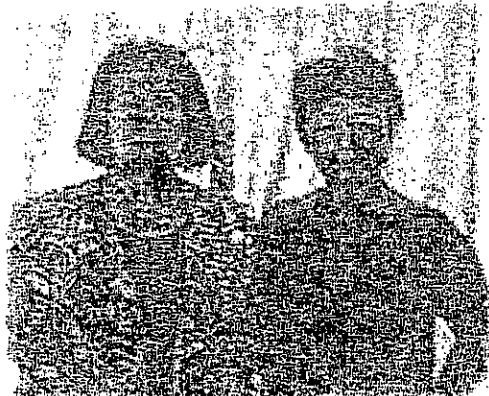
記念講演

樋口一葉と手ヤレンジした 明治の女性たち

『たけくらべ』『にごりえ』などの名作を残して24才の若さで夭折した樋口一葉。彼女は作品の中で、当時の女性の悲しい状況を克明に表現した。そして一葉の後に続いて、「女性の自立」のために立ち上がった多くの明治の女性たち。彼女たちがどんな思いで生きてきたのか、そして、現代に生きるわたしたちはその思い=メッセージをどう受け止めればよいのか。

堀井さんと見原さんのお二人による楽しくパワフルなお話をとおして、明治の女性たちの熱いメッセージを感じてみませんか!

あわせて、着物のリフォームによるファッションショーを開きます。どうぞお楽しみください。



講師：古典文学研究「W・Sの会」主宰
堀井幸子・見原正佐子

(堀井幸子・写真左)大阪府公立中学校教諭他を経て千葉県船橋市へ移る。船橋市女性センター前専門員。見原氏とともに女性の視座に立った古典文学研究「W・Sの会」を主宰。1998年奈良へ移住。(見原正佐子・写真右)船橋市女性センター前専門員。堀井氏とともに古典文学研究「W・Sの会」を主宰。ふなばし女性会議事務局・船橋市女性政策推進委員。

●日 時 / 6月27日(日) 10:00~12:30

●定 員 / 男女80名

●受講料 / 無料

●託 児 / あり(1歳6か月以上就学前のお子さん一人一回500円)

●申込み締切 / 6月15日(水)

●会 場 / 奈良県女性センター

〒742-8601 奈良県大和郡三郷町大和1-1-1 奈良県女性センター

FAX 0742-22-6729

TEL 0742-27-2300 <http://www.pref.nara.jp/joseic/>

下記の必要事項を記入の上、このままファックス、又はハガキにて申し込んでください。ホームページからも申込ができます。お申し込みをもって受講決定といたします。

① 講座名 **なら男女共同参画イベント2004記念講演②** 6/27(日)

② 住所 (〒 -)

③ 氏名(ふりがな)

④ 電話番号 (-)

⑤ 年齢

⑥ 託児希望の有無(託児希望の場合はお子さんのお名前、生年月日も)
有・無(どちらかに○を)

→お子さんのお名前 () 生年月日 (年 月 日)



なら男女共同参画週間イベント2004
講演とファッションショー

樋口一葉とチャレンジした 明治の女性たち

&

「キモノDEリフォーム」ファッションショー

とき 平成16年6月27日(日) 10:00~12:30
ところ 奈良県女性センター

第1部 講演

樋口一葉とチャレンジした明治の女性たち

講師 古典文学研究W・Sの会

主宰 堀井 幸子
見原 正佐子



第2部 「キモノDEリフォーム」ファッションショー

構成 なら男女共同参画イベント2004実行委員会
衣装製作 創作工房 「ら・ふおりあ」
古着お仕立て「都路」
その他

今年からおれでお目にかかります。

どうかお貯めくださいませ。

樋口一葉

原文1

夫よりは氣を取直して稼業に精を出して少しの元手も拵へるやうに心がけて下され、お前に弱られては私も此子も何うする事もなからで、夫こそ路頭に迷はねば成りませぬ、男らしく頑ひ切る時あきらめてお金さへ出来ようならお力はおろか小紫でも搦巻でも別荘ししらへて困つたら宜うござりましたよう。

中略

お初は口惜しく悲しく情なく、口も利かれぬほど込上る涙を吞込んで、これは私が悪う御座んした、堪忍をして下され、お力が親切で志して呉れたものを捨て仕舞つたは重々悪う御座いました、成程お力を鬼といふたから私は魔王で御座んせう、モウいひませぬ、モウいひませぬ、決してお力の事につきて此後とやかく言ひませぬ、蔭の噂しますまい故離縁だけは堪忍して下さい、改めて言ふまでは無けれど私には親もなし兄弟もなし、差配の伯父さんを仲人なり里なりに立て、来た者なれば、離縁されての行き處とはありません、何うぞ堪忍して置いて下され、私は憎かるうと此子に免じて置いて下され、謝りますとて手を突いて泣けども、イヤ何うしても置かれぬとて其後は物言はず壁に向ひてお初が言葉は耳に入らぬ體、これほど邪慳の人ではなかりしをと女房あまれて、女に魂を奪われるれば是れほどまでも羨ましくなる物か、

「こころえ」より

原文2

雨じたりの音軒ばに聞えてとまりがらすの声かしましきにふと文机のものと夢はさめぬ 今日ハ二月廿日成きとゆびをるに大かた物ミなうつ、にかへりてわが名わがとしやうく明らかに成ぬ 木よう日なれば人々積古に来るべき也 雪のいミじう降たるなれば道いとわるからんにさぞな怪びあへるならんなどおもひやる

ミたりける夢の中にハおもふ事ころのま、にいひもしつ おもへることさながら人のしりつるなど嬉しかりしをさめぬれば又もやうつせミのわれにかへりていふまじき事かたりがたき次第などさまくぞ有る
しばし文机に頬づえつきておもへば誠にわれは女成けるものを、何事のおもひありとてそはなすべき事かは
われに風月のおもひ有やいなやをしらず 匿の世をすて、深山にはしらんこ、ろあるにもあらず さるを厭世家とゆびます人あり そは何のゆゑならん はかなき草葉にすみつけて世に出せば当代の秀逸など有ふれたる言の葉をならべて 明日ハそしらん 口の端にうやくしきはめ詞などあな怪しからずや かゝる界に身を置きてあけくれに見る人の一人も友といへるもなく我れをしるもの空しきをおもへばあやう一人この世に生れし心地ぞする 我れは女なり いかにおもへることありともそハ世に行ふべき事かあらぬか

（ミつの上、明治二十九年二月二十日）



樋口一葉と明治の女たち

◇一葉という人 (1872~1896)

明治5年 東京生れ東京育ち 本名 奈津。 兄2人、姉1人、妹1人。

両親 樋口則義、滝子。甲州の農家の人。妊娠中に駆け落ち上京。

女戸主 15才の時、兄泉太郎の死。17才の時、父の死。

「萩の舎」 和歌や、源氏物語などを勉強する歌塾。(主宰中島歌子)

◇半井桃水との恋と別れ

作品『雪の日』26年『文学界』 『花ごもり』27年『文学界』

奇跡の14か月の作品群 1894(明治27)~1896年(明治29)

『おおつごもり』『たけくらべ』『にごりえ』『ゆく雲』『十三夜』

『わかれ道』など

・さまざまな女たちの生き方を描く。

◇一葉のサロン 平田秃木 戸川秋骨 斉藤緑雨 島崎藤村 『文学界』の同人、 そして時の作家たち(全て男)

名作『たけくらべ』 森鷗外激賞

「われはたとい世の人に一葉崇拜のそしりを受けんまでも、此人に誠の詩人
といふ称をおくることが惜しまざりけり」

◇自立の意志 —

私はどの生き方もしたくない。ものを書く自立した女になりたい。

『にごりえ』のお方とお初 原文1

「われは女なりしものを」 日記「みづの上」 原文2

明治29年2月20日

◇明治の女性たち

岸田俊子(1861~1901) 若松賤子(1864~1896)

三宅花圃(1868~1943) 清水紫琴(1868~1933)

木村 曙(1872~1890)